

〈はじめに〉

今回の報告書では「授業」、「留学を終えての感想」について報告致します。

〈授業〉

Introduction to Advertising

授業の内容は、これまで習った知識を生かしてブランドのロゴを考えるという内容でした。あまり深く考えず作品を見せると、「そのロゴは白黒印刷でもきちんと認識できる?」「企業理念とマッチしている?」などと言われ再提出をもらいました。実績があれば顧客は来ると私は思っていたのですが、改めて広告の大切さを認識しました。一方、討議の時間中に日本製品が好きな学生に、「どうして日本は製品の宣伝をアメリカでしないのか?」と聞かれることが多々あります。私は「日本は、日本国内にある程度の大きさの市場があるから、わざわざ海外に進出するリスクをおわないと思う」と答えていましたが、これ以上答えることができない自分の不甲斐なさにいらいらしていました。これを機にもっと日本のマーケティングや企業の構成について勉強する必要があると感じました。

Engl Pronun for Acad Purpose

主にリンキングについて勉強しました。リンキングとは単語と単語の発音が繋がることを言います。パターンは多くあるので省きますが、例えば「love him」だったらラブ ヒムがラヴィムのように繋がります。私は文章を読む際はリンキングに注意して発音することができるのですが、いざ人と話すとなると使い慣れているフレーズ以外はリンキングすることができなく大変悩ましい内容です。また、リンキングは日本語にないから難しいと思っていたのですが、インターネットで調べると日本語にもあるみたいで驚きました。「反応」が一つの例で、単体では「はん」「おう」ですが繋がることによって、「はんのう」になるみたいです。私は言語専攻ではないため詳しいことはわかりませんが、自分が普段使っている言葉の中に、苦労している英語との共通点を見つけることができ何か安心しました。

Individual Study

昨学期に行っていたインターンシップの続きで、なにか要請があればお手伝いをしています。3月からクラウドファンディングを始め、忙しくなってきたため手伝いをしていました。アメリカに来て私がwebページのデザインを教えることになる(非情報工学専攻の学生に対し)とは思っていなかったものでとても貴重な経験でした。クラウドファンディングの結果は大変よく、スタンフォード大学とこれから共同で開発していくことになり今後は楽しみです。

〈留学を終えての感想〉

20代で留学する機会を頂けたことに大変感謝しております。多くの経験をする事ができました。金沢工業大学の卒業式の時に当時の学園長が松下幸之助さんの「百聞百見は一験に如かず」という言葉について話されていたのを思い出しました。まさに留学生活はこの言葉そのものでした。挑戦すること一つ一つが経験したことが無いことでした。レストランでの食事、お店での買い物、授業、コミュニケーションなど日本では何気なくやってきたことも、不安を感じながら生活をしてきました。日本に帰りたいとまでは思ったことはなかったですが、「生活するのに気を使うなんて嫌だな」と思った時も多々ありました。しかし、多くの人に支えられ、また友達が頑張っている姿を見ていると自分も頑張らないといけないと気持ちになり、最後まで留学を続けることができました。

留学する前は、日本人との接触はやめようと思っていたのですが、留学してみてその考えは変わりました。日本人としか接触しないというのは勿論厳禁だと思いますが、留学をしている学生は皆が優秀で、高い目標を掲げてこちらにいらしています。そのように目標に向け猛進している同世代の話を聞くと私も刺激され、私まで目標が高くなった気がします。また、自分より年配の方でこちらにいらっしやっている人も、同様に日本では到底知り合うこともできないような優秀な方達で、1つ1つのアドバイスが大変身にしみました。20代という多感な時期にこれらの経験をできたことは、一生の宝物になると確信しています。留学をするにあたり関わった皆さまに感謝しております。

これで4月の報告を終わります。